

教育長	教育部長	課長	指導主事	課長補佐	主査	係	保存区分
							永・10 5・1

平成24年大口町教育委員会10月定例会議

平成24年10月24日

午前 9時30分 開 議

大口西小学校 2階 相談室

議事日程

日程第1 委員長報告

日程第2 教育長報告

日程第3 議事録署名者の指名

日程第4 協議事項

(1) これからの図書館について

日程第5 連絡事項

(1) 大口町教育委員会後援名義の使用許可の報告について

(2) 秋の企画展「大口町の50年」について

(3) 行事予定について

日程第6 その他

出席委員

委 員 長 吉 田 哲 也

職 務 代 理 者 中 里 み どり

委 員 丹 羽 孝 子

委 員 丹 羽 茂 文

説明のため出席した者

教 育 長	長 屋 孝 成	生涯教育部長	近 藤 孝 文
学 校 教 育 課 長	竹 本 均	参 事 兼 生涯学習課長	松 浦 文 雄
町立図書館長兼 歴史民俗資料館長	熊 崎 哲 也	指 導 主 事	岩 田 晃 典
学校教育課長補佐	小 島 金 彦		

◎開会

○吉田委員長 おはようございます。

平成24年の教育委員会10月定例会を始めたいと思います。

本日の出席委員数は5名であります。

定足数に達しておりますので、これより大口町教育委員会10月定例会を開会いたします。

本日の会議には、傍聴人はおりません。

それでは、お手元に配付した議事日程に従いまして進行します。

◎日程第1 委員長報告

○吉田委員長 日程第1、委員長報告、私から報告いたします。

10月は学校行事がいろいろありました。私はいろいろ御無礼して申しわけなかったですが、無事に運動会、体育大会は終わったと思います。お疲れさまでございました。

きょうは、午後から事務協です。引き続き日程第2、教育長報告に移ります。

長屋教育長から報告をお願いします。

◎日程第2 教育長報告

○長屋教育長 暑い暑いと言っておりましたら、もう既にこんな過ごしやすい、むしろ寒いぐらいの時期になってきました。きょうは、大口西小学校で開催しましたが、定刻までにお集まりいただきまして、大変ありがとうございます。

前回の定例会後の件についてですが、各学校大きな行事、まず小学校の運動会、そして中学校の体育大会は予定どおり開催されまして、大変多くの参観者のもとで開催され、無事に終了しました。

また、小学校は、10月10日の日には陸上運動記録会が北小学校で開催をされました。

また、町民体育大会には、北小学校の5年生がオープニングに鼓笛で出演をしてくれて、大変盛り上がりを見せてくれましたし、それから保育園は今年度50周年記念事業ということで、4園合同で総合グラウンドで開催されましたが、そこに中学校のブラスバンドの生徒が参加をして花を添えてくれました。大変いいことだなあと考えております。

また、10月15日ではありますが、北小学校の学校訪問がありました。ここでは、特に新学習指導要領に基づいて、言語活動というものを重視して、どの事業でもそれを取り入れていこうという方向性の授業がどのクラスでも展開をされておまして、これからこれが2年、3年と続いていけばかなり深まっていったら、子供たちも育っていくのではないかと、そんな感想を持ちましたし、また子供たちも大変元気よく、概して規律ある小学校生活をしている様子と理解

をしました。

また、北小学校には1名、筋ジストロフィーの子が5年生にいまして、その子は車椅子で生活をしていましたが、できる範囲ということで、本当に教室の中でできる範囲のことに精いっぱい取り組んでいる様子であり、いいなあということを思いましたが、トイレの介助等、担任の先生が進めているということで、今後どのように支援していくべきかということで、検討課題だということを感じました。

それから、16日火曜日であります、丹葉地方教育事務協議会、そして岩倉市教育委員会から研究委嘱を受けました岩倉南小学校の研究発表会が午後日程で開催されましたので、参観をさせていただきました。ここでもかかわり合う、学び合う仲間づくりということで、このテーマのもとに授業公開をされましたけれども、本当に2年間の先生方が一生懸命実践をされた成果をかいま見ることができました。岩倉南小学校は、特別支援学級2クラスを含めて16学級、455名という規模でして、また若手の先生が大変多い感じを受けましたけれども、若手の先生方が本当に授業に真剣に取り組んでいる様子、また子供たちの学びへの姿勢等からそんなことを感じることができましたし、また4年目の先生であります、パネラーとなっていていろいろとお話をされていましたが、活躍をされている姿、これが大変印象的でありまして、やっぱり教員の研修といえますか、現場で授業を通して育っていくということを強く実感した、そんな研究発表会でありました。

今月の31日には、委嘱校の発表会ということで、布袋北小学校で開催されますので、もし御都合がつけば、ぜひ参観していただきたいと思えます。

それから、うれしいニュースであります、南小学校の天野拓夫先生が県の教育委員会から、今年度101名でありましたけれども、幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校の中の101名の中の1人として、地道な教育活動を展開、継続して行っていると、そして他の模範になるということで表彰を受けましたので、報告をさせていただきます。

それから、今後の件であります、先ほども委員長から話がありましたが、きょう事務協の定例会がありまして、途中人事異動の件、それから平成25年度の教職員定期人事異動の件についてありますので、次回に報告をさせていただきます。

また、あすは阿久比町への視察、それから11月12日には大口中学校の学校訪問が予定されておりますので、どうぞよろしく願いいたします。以上です。

○吉田委員長 ありがとうございます。

(午前 9時39分)

◎日程第3 議事録署名者の指名

○吉田委員長 それでは、日程第3、議事録署名者の指名のほうですが、私と丹羽孝子委員でお願いいたします。

◎日程第4 協議事項

○吉田委員長 引き続き、日程第4の協議事項に移ります。

(1) これからの図書館についてお願いいたします。

○熊崎町立図書館長兼歴史民俗資料館長 前回の教育委員会定例会におきまして、新しい図書館についてということで、要望書をとというようなお話がございまして、事務局のほうで案をつくるということでしたのでつくりました。御協議願いたいと思います。

読み上げますので、よろしくをお願いします。

新しい大口町立図書館の建設に対する要望書(案)でございます。

貴殿におかれましては、日ごろから町政の発展のため御尽力いただき、深く敬意を表します。

さて、平成15年3月に策定された大口町生涯学習基本構想の中に、図書館が生涯学習推進の中心施設として位置づけられており、また機能充実に努めることとなっております。今まで、愛知県立図書館を含む他の市町村図書館との相互貸借制度、近隣市町との広域貸し出し等、利用者の利便性向上に努めてきました。さらに、週6日開館、図書館システムをクラウド化に変更したことよっての、図書等の購入敏速化による機能性の向上にも努めてまいりました。その結果、個人の貸出実績が、全国町村立図書館で491館中36位、人口3万人未満の町村で423館中16位、これは平成23年度実績でございます。という高い貸出実績を誇っております。

また、本年度実施したアンケートで、本図書館に対する満足度は、「満足」「やや満足」を合わせて82%と高い数字となっております。現在、図書館について、利用者の多くは満足していると判断できます。しかし、スペース、利便性、機能性に課題もあり、これらを解決していくことが、より充実した生涯学習社会を実現することになり、ひいては豊かなまちづくりにも波及すると考えます。

現在の図書館は、開館してから34年を経過しており、耐震性に問題があり、スペースにおいても狭さを感じ、利便性・機能性にも不便を感じております。

図書館は、未来を担う子供から老年に至るまでのあらゆる年代の人々が気軽に利用でき、心の豊かさ、生きがいを得ることを支援する生涯学習を推進していく重要な施設であります。財政状況が厳しい中ではありますが、新しい大口町立図書館の建設を今後町の財政計画に盛り込んでいただきますよう要望いたします。

平成24年、いつになるかは抜いてあります。

大口町長 森進様。

大口町教育委員会、委員長 吉田哲也、委員長職務代理 中里みどり、委員 丹羽茂文、委員 丹羽孝子、教育長 長屋孝成。

以上でございますので、御協議願いたいと思います。

○吉田委員長 ありがとうございます。

今つくっていただきましたこの案につきましてですが、御意見。

○丹羽（孝）委員 本年度実施したアンケートでと書いてあるんですが、それだけですとどこでアンケートをとったかがわからないので、来館者のアンケートですよ。図書館に来た方で聞いたんですよ。

○熊崎町立図書館長兼歴史民俗資料館長 そうですね。

○丹羽（孝）委員 それを書いたほうが。町なかでされていると思われてもちょっといけないかなと思うんですけど、いかがなものでしょう。

○吉田委員長 要は、利用者に対して行ったということ。

○熊崎町立図書館長兼歴史民俗資料館長 そうですね。本年度利用者に実施したということだったら、来館したということですよ。

○丹羽（孝）委員 そういうことですね、はい。

○熊崎町立図書館長兼歴史民俗資料館長 じゃあ、本年度利用者に実施したということで、ここに「利用者に」ということを加えさせていただければよろしいでしょうか。

○丹羽（孝）委員 お願いします。

○吉田委員長 そのほか、いかがでしょうか。

私の意見ですが、もうちょっと迫るような表現というか、ぜひ必要だというようなニュアンスが出せたらいいかなと思います。どこをどうするかというのはぱっと思いつきませんが、

○中里職務代理者 具体的に、例えば車椅子利用者の方用のトイレがないとか、そういうことを少し入れてもいいんじゃないかなあというような思いがあるんですが、余り具体的なことを入れないほうがいいのか、入れたほうがいいのかというのがあると思うんですが、ちょっと入れてもいいんじゃないかなと思うんですが、その辺いかがでしょうか。

○吉田委員長 いわゆる施設面で不備があるというようなことを指摘するわけですか。

○中里職務代理者 そうですね。

○吉田委員長 下から5行目、「図書館は、未来を担う子供から」、この辺をもうちょっとボリュームをつけて、要は町の今後に対する投資というか、その辺ももう少しふやしたらどうかなと思います。今の施設面で足りないということと、未来に、要は町の未来に対する投資だという辺をつけていただけたらと思います。

○丹羽（孝）委員 私も、上の部分が充実しているというところが強調し過ぎちゃっていて、じ

やあ今のままでいいのではという形になるような気もするんですね。ですから、先ほども来館者のアンケートとしてほしいなと思ったんですけど、すごく古いからいけないんですけど、随分前のところでは、町の中の建て直してほしいというアンケート、全町のもっとたくさんの人数だったと思うんですが、前回皆さんにお渡しした中のアンケートには、小学校の次ぐらいに図書館があったのではないかなと思ったんですが、あれですと全町民というか、来館者じゃなくて、たくさんの方にアンケートをとったんだと思うんですけど。ちょっとアンケートが古いものですから、これに載せていいのかどうかというのがちょっとわからないんですが。

○中里職務代理者 この82%というと、何かすごくよく見えちゃって、別にこのままでみんな満足しているんじゃないかという、それをあえて新しくする意義が、ちょっとここには。もうちょっと押さないと、82%あるけど、こういうことが必要だから建て直してくださいというふうに持っていかなきゃいけないと思うので。

○丹羽（茂）委員 それじゃあいいですか、具体的に。

82%と高い数字になっていますと。次の段に「しかし」と始めないといけないですよ、ここから。だから、「現在の図書館について、利用者の多くは満足していると判断できます」はやめて、しかし、例えばスペース、耐震性、利便性、人に優しいという観点から非常に不足があるというようなことを言われて、こういうのがダブっているんですよ。「現在の図書館について」の部分と、「現在の図書館は開館してから34年を経過しており」ともう1回同じことを言ってみえるから、だから「82%と高い数字となっています。しかし」と来て、そして開館してから34年を経過しており、利便性とか耐震性とか、人に優しいという点からも、非常に不備が見られると。

大口町の生涯学習まちづくりの基本構想を掲げている以上、この図書館は非常に中核を成す問題であって、それを今の古いまま、利便性のない優しさの欠如している状態で置いておくのは、この基本構想にちょっと合致しないと。だから一考してくれというような書き方をしたほうが私はいいと思うんですね。だから、82%でいいじゃないかというんだから、だからここに「しかし」と。

アンケートをとると、利用している人はもっと上をわからないから、満足だと思うかもわからないけれども、じゃあこの8畳間で広いなと思っているのと、20畳間に住んでみると、やっぱり広いのはいいなあというような話になるから、8畳間しか知らないから、だから教育委員会の立場として、利用者にとってみると82%で満足しているように見えるんだけど、しかし町は生涯学習のまちづくりの構想を大々的に掲げているんなことをやってみえるんだけど、図書館というのは生涯学習の若年から老年まで利用ができる中核のハードウェアなんだと。それが34年もたって、利便性にも、耐震性にも、人に優しいという面にも非常に不足している、

欠けている面が多々見られるというような書き方をして、ここで一遍82%の満足度を全面的に、生涯学習のまちづくり実行委員会は言っているのに、実態は利用者は82%で満足しているかもしれないけれども、古さとか、安全性とか、人に優しいという面からちょっとみっともないよと、だから一考してくださいというふうに書かれたらどうですか。

今みたいな意見が出ちゃうよね、82%出ているからいいじゃないかという話を、我々がここで否定せないかんですわ。82%出ているけれども、町は生涯学習のまちづくり実行委員会を大々的に延々と長期計画の中で掲げているでしょう。その中核のハードウェアは図書館じゃないですか、そのうちの一つですよと。それが34年もたって耐震性に欠け、そして人に優しいという面でも非常に欠如が見られ、利便性にもといういろんな面で、だから教育委員会としてはちょっとお粗末だと思うと、だから一考してくれと。このぐらいのことを言いたいんでしょう、委員長の言いたいのは。

○吉田委員長 そうですね。要望書として出すのなら。

○丹羽（茂）委員 要するに、生涯教育部が出すわけじゃないので、5人がこの教育委員会としてちょっと物申すというわけだから、事務方に迷惑をかけるわけじゃないから、この5人の意見としてぼんというふうに言ったらいかなものかなと思うんですけど、どうでしょう。

○吉田委員長 どうですか、今の御意見は。なかなかわかりやすいと思いますが。

○熊崎町立図書館長兼歴史民俗資料館長 教育委員さんの意見をお聞きして、どうしましょう、来月までにまたつくってというお話でしたので、今のお話をお聞きして、どうしましょう、来月までにまたつくってということよろしいでしょうか。

○吉田委員長 そうですね。次回というと、来月ですね、顔を合わせるのには。

○丹羽（茂）委員 だから、その間にちょこっとつくってもらって、ファクスで送ってもらうんですね。定例会でまた初めて見て、全部今から読みますとか言われても、何か時間をもったいなさそうだから。

○近藤生涯教育部長 ちょっと確認をいいですか。

皆さんは本当に図書館を建設ということで要望されるということいいんですか。今の図書館を生かしながら、新しい図書館を将来的にはつくってくれということいいんですよね。将来的に。

○吉田委員長 そうですね。

○近藤生涯教育部長 じゃあその中で、この文章の中で、事務局でありながらこんなことを言っ
てはいけませんけど、じゃあ教育委員としてきょうまで何をやってきたと町長に言われたら、この文章から何も見えてきませんよね。例えば、検討した経過がこれは何も触れてはないですよ。

○吉田委員長 教育委員として何をやってきたかというよりは。

○近藤生涯教育部長 例えば、1月に丹羽孝子委員からそのような提起があつて、それから以降、教育委員会として定例会のたびにやってきましたよね。そういう経過というのを何も触れていないものですから、その辺も資料として検討したという事実を載せたほうが私はいいのかなというふうに思いますし、それから現況のスペースとか利便性とかという課題があるというふうにおっしゃったんですけど、それに対して、図書館としてどうあったらいいのかというものですよね。

○吉田委員長 いわゆる理想の形。

○近藤生涯教育部長 また問題が戻ってしまうかもしれませんが、大口町の図書館に8万冊という本が本当に必要なかどうかということから始めるのも必要なあとと思うんですよね。成人の図書と児童用の図書とありますよね。それもよその市町と同じようにふやしていくのがいいのか、大口町の図書館は児童用の図書で攻めていこうという戦略を持つのも一つの手だろうと思いますし、そういう意味で、今まとめるのは簡単なんですけど、まだ中途半端かなあと私は思うんですよね。

それと、教育委員会と図書館運営協議会とのあり方をどうするのかと。図書館の運営協議会という独立した組織がありますよね。こちらの教育委員会という組織がありますよね。そちらとこちらとどう使い分けるのか。こちらの意見もやっぱりあるだろうと思うんですよね、図書館運営協議会の意見も。その意見をもって多分教育委員会として何らかやらなきゃいかんということになるかと思うんですけど、その辺がまだ出ていないのかと私は思うんですけどね。

○丹羽（茂）委員 いいですか、それに対して。

大口中学校をつくって、将来の大口町の学校というのはどんな学校にしていったらいいんだろうかという問題が十何年前に起きたときに、じゃあ新しい学校をつくりましょうという形で教育委員会が大体方向を決めたとする、そうすると今度は専門家というか、プロジェクトチームを立てて、そこで基本構想を練って、そしてワーキンググループをつくってと、こういうことになっていくと思うんですよ。

図書館でも一緒に、我々が図書館に精通しているわけじゃないし、多分市町の人口1人当たりの冊数が幾らあると文化程度が高いのかという指標も知っているわけじゃないんだけど、やっぱり生涯学習のまちづくりの構想の中に、このハードウェアは必要なものであるから、教育委員会としては詳しいことはまたプロジェクトチームなり、ワーキンググループなり、有識者に集まってもらったり、専門チームに集まってもらってやって、逐次教育委員会に報告してもらって、ちょっとこういう御意見、やっぱり専門のプロジェクトでみんな話合おうといい意見が出てくるなというようなことをやりとりしながら持っていけばいいと私は思うんですよ。

ここで教育委員としてはどんな図書館が作りたいたんとか、どうのこうのという各論に入っちゃうと、我々はまた今度教育委員をやめたんとか、任期いっぱい新しい教育委員が入って、また不連続の連続協議をやっているもおかしいと思うから、これはこれでいいと思うんです。

それから、今の図書館の協議会とか、孝子さんがやっている、こういうのは行政の中ではいっぱいダブってあると。課長と一緒にやっている生涯学習づくりの実行委員会と、それから町がやっているお料理教室だとか何とか、パソコン教室だとか、ボランティアがやっているのか、行政がやっているのか、ダブっているところが幾らでもあります。だから、それはもうしようがないというのか、まあそういうふうにやっておいて、これをまとめて一括でやろうとすると、教育委員会も図書館運営協議会も一回見直して合同でというんじゃなくて、まずはこの件に関しては、どうも見劣りするし、お粗末だと。だから、掲げている以上看過せずに、ちゃんと一つのネタとしていつも頭の片隅に置いてほしいということ、まず要望書ですから、最初から…。何か言われたら、いや、ちゃんとこうやってやっていますよという話なもんだから。

○吉田委員長 今の話、そのとおりだと思って、教育委員会というのはそういうことを提起していく存在じゃないですか。

○近藤生涯教育部長 教育に関して、住民の代表の意見だと私は思っていますよ。

○吉田委員長 まずそれがあって、今の話、じゃあ意見が出たけど実際はどうだというふうになったらこういう話に、アンケートや何かの結果が出てくればいいと思いますけど。

○丹羽（孝）委員 評議員さんも、十何年前ですけど、この間持ってきたんです、あの分厚いんですね。あれでは、もう建てたいという方向であれだけ2年間話し合っていて決めていると思うんです。ほとんどの方がもうかわって見えるし、残って見える方も見えると思うんですけど、その方に話したときも、もう私は言い尽くしたと、あれから何の動きもないがどうなっているんだというふうに言われるんですね。だから、評議員さんとしても、それは思ってみえると思うんです。だけど、年2回から3回の会議では、常にこういうのが出ましたがあっちへというのは無理なので、やっぱり丹羽さんの言われたように、例えば建てるというときになったら、その中のメンバーに入っていていただいて相談に乗っていただくとか、そういうふうでないと、密に教育委員とというのは難しいかと思いますが。

○近藤生涯教育部長 行き過ぎたというか、勢いに任せて言っちゃったところもあるかと思うんですけど、例えば本当に要望書を持っていかれたときに、私も同席しますが、そのときに反論として、じゃあ実際どうなのよと言われたときに、それではという話ではないと思うんですよね。ここに掲げているスペースとか利便性とか、いろんなこともありますよね。それに対してやっぱりみんなが同じ共通認識を持っていただいていると思うんですけど、その辺のところなんです。

それは、いつかは絶対建てるべきときが来るだろうと私は思うんですよ。それが今、来年とか再来年とか、そんな近い将来じゃない、もっと先になると思うんですけど、じゃあ今の図書館をどうするんだと反対に聞かれた場合、何も用意していないですよ。

○吉田委員長 今回の図書館をどうするという事は……。

○近藤生涯教育部長 当然出てくるだろうと私は思うんですけどね。

○吉田委員長 今のちょっとよくわからなかったんですけど、今の図書館をどうするというのは。

○近藤生涯教育部長 例えば、建設についての要望書を持っていくとしましょう、町長が受け取りますよね。ああそうか、図書館が必要なんですよという話をされたとしましょうね。そこで終わるかも知れませんが、じゃあ今の図書館はどうなんですかと反対に聞かれたらと思うんですよ。今の図書館のどこが悪いんですかと、今の図書館をどうしたらいいんですかと。

○吉田委員長 それが今のアンケートの結果に出ているのだったり、障害者用のものがなかったりということになりますよ。

○近藤生涯教育部長 ということでもいいんですよ。

○長屋教育長 要望書について、先ほど丹羽委員のほうから、前半が充実していて、後半のほうのインパクトが少ない、まさにそのとおりでなと思って聞いていたんですけども、方向としては、生涯学習基本構想にのっとって図書館が位置づけられているから、現行の施設の中で精いっぱい全力で取り組んでできていると、それが82%にあらわれていると。確かに82%という誤解を招くことですので、先ほどのようにこの図書館を利用する人のアンケートであって、この中に何人かというのを、五百何人かだったんだから、その人数を書きおけばもっと明確になってきますね。そして、この82%を今度は有効に活用していかなければいけないと、82%で確かに現状は頑張っているんだけど、一番基本に戻ったときの生涯学習基本構想の本当にもとに戻ったときに、これは大変貧しい状況であると。より豊かなまちにつくっていくためには、図書館の建設というのが大事だと。しかし、財政状況が厳しいということは重々承知しておるんですけども、やや長期的なスパンで、ぜひこれは町の総合計画的なものに位置づけてほしいというような要望にしていくべきだろうと。後半のところをもうちょっとインパクトが強くなるようにということで御意見をいただいたので、ちょっとここですぐに直すことはできませんので、検討をする時間をもらっていただければどうかなと思っています。

○竹本学校教育課長 1点だけ、今教育長がおっしゃったインパクトをもうちょっと強くといったところで、耐震性に問題がありというこの文言は、実は今年度耐震診断をしているんです。だから、問題ありという結論をもらっているわけではないので、ここは表現としてカットした形で仕上げていただいたほうがいいのかなと。

○吉田委員長 34年たっているということですね。

○竹本学校教育課長 その老朽化については事実ですので。ただ耐震性については結論が出ていませんから、それを教育委員会のほうが耐震性に問題あるだろうみたいな議論は一切してありませんので、ここだけは抜いた形で再度文章を仕上げてくださいという方がいいかなと。

あと1点、僭越だと思うんですけど、この題名が「建設に対する要望書」という、前回教育委員会の中で、図書館の位置づけとしては大切だよ、だから生涯学習の基本構想の実現を図るためには図書館を忘れないでねというような意味合いで要望書を出そうじゃないかということだったんで、建設ありきという要望書のような形があって、ここは例えば「大口町の図書館の将来について」とか「大口町の図書館構想について」とか、要は建設ありきはちょっと。言っている内容は建設ありきでいいと思うんですよ。最後に位置づけとしてしてほしいと。という2点が、ちょっと私は思うんですけど、その辺御協議いただいて、文章を仕上げてくださいということをお願いしたいなと。

○吉田委員長 受け取る側から見たら、建設と書いてあると、確かにもうそれだけで身構えてしまうかもしれませんので、今の将来というような形のほうが読みやすいかなと思いますね。

いかがでしょうか。

○丹羽（茂）委員 私はこうやって書いておいたほうが、そんな将来なんていったら、行政は全部先送りになりますよ。これは私らの生きている間に建ちません。そういうものだって。もう絶対にはっきり言わないと、こんなお粗末な34年もたったものを放っておいて、学校ばかりつくって、それで町じゃないよということと言わんと。そのくらい言うておいたほうが。別に教育委員会としての意見ですもんね、今の現時点での。次に教育委員さんが半分以上かわったら、変わるかもわかりませんが、我々の現メンバーの意見ですから、はっきり言うておいたらいかがですか。委員長も、ここら辺もうちょっとインパクト強いことを言ったらと言っているぐらいだから、もう題名からインパクトが強くないと、建設ありきでいいんじゃないですか。

○吉田委員長 いかがでしょうか、この辺は。

○丹羽（茂）委員 だって、そうやって丹羽孝子さんが言われたんだから、建設してほしいんですよ。

○丹羽（孝）委員 してほしいです。

○丹羽（茂）委員 じゃあ、もうこの文言で。

○丹羽（孝）委員 でも、やっぱりお願いしたアンケートが、教育委員会からお願いをしたんですけど、このアンケートの「本年度実施した」というのから「82%と高い数字となっております」は消してほしいぐらいです。というか、100%よしとしてきた人たちのアンケートなので、100%ではないけど、気に入った人が来ているので、その人にとってはいい。

○丹羽（茂）委員 いいんだって。だから、この間も言いました。大口北部中学校と大口中学校

で通っている人と、それから通っている父兄の人で不満の人はいなんだって。けども、やっぱり大所高所から見て、この人数ではいろんな部活の活動だとか、教員数だとか、いろんな問題で1つにしたほうがいいと。誰も1つにしたほうがいいと思っていないよ。そうでしょう。安全に学校が穏やかならば、皆さん父兄とも満足してみえますよ。だから、図書館も今も通っている人は満足していますよ。けども、そんなことを言っていたら、ぼろぼろになるまで満足する、本当にぼろぼろになるまで。だから、どこかでやっぱり教育委員会としての意見は言わないと、こうやって新生大口中学校をつくったときみたいに。それはある程度言って、これで要望書を出したからといってできるとは限らないわけですから。けども、黙っておってはいけませんでしょうと。だから82%はいいんだと、だから今全然問題ありませんよと、別に不利なことを言ってね。

○丹羽（孝）委員 そうですね。図書館の人は頑張ってやってくださっていますもんね、そうですね。

○丹羽（茂）委員 こんなぼろぼろでどうしてくれるのという意見がありませんというのが82%だけれども、将来のことだとか、基本構想を中・長期に上げてみえることからいくと、このハードウェアはお粗末だと教育委員会としては思いますのでという書き方でいかんですか、私はそう思います。

○吉田委員長 事務局のほうの雰囲気が、出しにくいという感じが伝わってくるんですけども。

○近藤生涯教育部長 お互いが認識さえ同じものを持っておればいいんだろうと思いますし、あと1つ気になるのが、一番最初連名でお名前出ささせていただいておりますよね。連名でいいですか、それとも委員長の名前だけで。

○吉田委員長 それは連名のほうがいいんじゃないですか。

○丹羽（茂）委員 連名でいいんじゃないですか。今のこのメンバーはこう思っているわけですから。

○吉田委員長 では、教育委員の名前で出すということでもありますので、今の表題のほうでも建設というのを入れると。

それから前半をもう少し、十分だというニュアンスを少し減らして、後半の、要は将来に対する投資だということをふやしてもらおうと。そんなことでいかがですか。

（「お願いします」と呼ぶ者あり）

○吉田委員長 では、済みません、そんなふうで。でき次第、ファクスなりメールなりで送信のほうをお願いいたします。

では、図書館についての話は以上でよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

◎日程第5 連絡事項

○吉田委員長 では、5番の連絡事項に移ります。

(1) 後援名義の使用許可の報告についての報告ですが、お願いします。

○竹本学校教育課長 大口径教育委員会後援名義の使用許可の報告について。

このことについて、大口径教育委員会後援名義使用に関する要綱第5条第4項の規定に基づき、下記のとおり報告する。

使用の許可については、今回はありませんでした。

実績報告につきましては3点ございましたので、報告をさせていただきます。以上です。

○吉田委員長 それでは、引き続き(2)秋の企画展についてお願いします。

○熊崎町立図書館長兼歴史民俗資料館長 町制50周年記念事業という冠をつけました秋の企画展ということで、大口径の50年の後期ということになりますけれども、もう既に先週の土曜日から始まっておりませんが、10月20日から12月16日まで企画展が開催されておりますので、歴史民俗資料館のほうに足を運んでいただければと思いますので、よろしくをお願いします。

○丹羽(茂)委員 何をやっているんですか、大体メインとして。

○熊崎町立図書館長兼歴史民俗資料館長 一番のメインは、その当時の8ミリビデオが、白黒で十数分なんですけど、それをCDに置きかえて、音は全て消えてしまっていたそうです。その映像を映しています。町民体育祭か運動会みたいなのか、あと遠足もありましたし、あとスキーに行ったときの映像があります。あとは町になったときの議会の議案とか、そういうものが並べてございます。たくさんはないですので、資料的には。メインはビデオが、私も見て懐かしいなと思いました。

○吉田委員長 ナレーションか何か入っているんですか。

○熊崎町立図書館長兼歴史民俗資料館長 全て音は入っていません。

○吉田委員長 いや、新たに入れていない。

○熊崎町立図書館長兼歴史民俗資料館長 入っていないです。

○丹羽(孝)委員 それは、町民の方からの。

○熊崎町立図書館長兼歴史民俗資料館長 町民じゃなくて、町が保管していたのではないですかね。もう古いですので、ちょっとわかりませんが。何しろ、音は入っていたみたいですが、保管状況とか年数で劣化していて、音は全てだめになっていますね。

○吉田委員長 ナレーションぐらい入れるとよかったですね。

○丹羽(茂)委員 ナレーションか字幕かね。

○吉田委員長 では、お暇な時間に足を運んでいただけたらと思います。

続きまして、(3) 行事予定をお願いします。

○小島学校教育課長補佐 行事予定表を簡単に説明いたします。

まず11月です。11月3日土曜日と4日日曜日につきましては、ふれあいまつり。12日月曜日、大口中学校で学校訪問があります。

裏面に行きまして、今のところ予定ですけれども、11月29日木曜日、12月の定例議会が開会されます。こちらは12月14日までとなっております。あわせて、教育委員会の定例会です。こちらは、11月30日で長屋教育長の任期が満了となりますので、ここで教育長の任命の議案が予定をされております。12月1日が土曜日ですので、教育委員会の定例会で決定した後に、あわせて辞令交付式のほうもとり行いたいと思っておりますのでお願いをいたします。

○丹羽(茂)委員 辞令交付式は14時に決まっておるわけですね。

○小島学校教育課長補佐 今のところ14時から定例会が始まりまして、そこで教育長の任命に関して審議・決定を受けた後に辞令交付式という形になります。教育長の任命交付式は教育委員会のみで行いますので、町長などの出席のほうはございません。

○吉田委員長 公室に行きましてやるわけではない。

○小島学校教育課長補佐 中央公民館で行います。

○丹羽(茂)委員 この29日の定例会は、14時からやるということですか。

○小島学校教育課長補佐 そうですね。12月の定例議会が開会ということで、午前中、議会の予定が入っておりますので。

○丹羽(茂)委員 14時、ではこれ決定ですね。この日は。

○小島学校教育課長補佐 そして、30日金曜日が就学指導委員会です。

そして12月に入ります。1日土曜日が第7回愛知万博の記念駅伝。12月6日木曜日、学校連絡会議。

裏面に行きまして、12月27日木曜日、今のところ予定ですけれども、教育委員会の定例会。そして、28日金曜日は仕事納め式ということになっております。

行事予定と日程は以上になりますけれども、冒頭話がありましたように、あす阿久比町へ視察に行きますので、8時30分、中央公民館の前で集合・出発をお願いします。当日、阿久比町の草木小学校で給食を試食しますので、230円ですけれども、集金いたしますのでよろしくをお願いいたします。

私からは以上です。

○吉田委員長 では、とりあえず11月29日は午後2時から定例会。あと、大口中学校の学校訪問は12日月曜日ですね。

そのほか。

○中里職務代理者 済みません、ちょっとお伺いしたいんですけど、今後、この教育委員の定例会を公開された場合、各小学校でやったりとか、場所を変えるということはあるのでしょうか。いつもいつも公民館でやるということになりますか。

○竹本学校教育課長 いや、そんなことはありません。今回のように、年2回外に出ようかということで今実施しておりまして、当然公開についても、公開した場所で、きょうも案内ということはないんですけど、席は設けましたけど、公開をするというスタンスの中で進めていきます。

○吉田委員長 そのほか、ありますか。

○丹羽（孝）委員 あすの集合場所ですけど、いつも福祉会館を使うときに駐車場がないんですね。だから、駐車場スペースをあけるために、役場で集合していくというのはいけないのでしょうか。

○竹本学校教育課長 いいですよ。決めましょう、ここで。よろしいですか。

○吉田委員長 私はどこでも。

○丹羽（茂）委員 どこでもいい。

○竹本学校教育課長 では役場で、あした8時半集合・出発ということにしますので、役場の駐車場をお願いしますということで。8時半であれば大丈夫なんですけどね、普通のときの1時とか2時に来てくださいますという、なかなか駐車場がないですね。

○丹羽（孝）委員 ほかの方に迷惑かなと思って。ずっと置いてあると使いたい方がぐるぐる回られていつも大変なので、なるべく一日中動かさないのなら。

○丹羽（茂）委員 そこまで言われるのなら、役場の向かいの駐車場に。だって、役場の利用者が今度大変ですよ。4台とめたら。

○丹羽（孝）委員 役場ってそんなに込みますか。

○丹羽（茂）委員 結構込むよ。

○竹本学校教育課長 職員の駐車場の。

○丹羽（孝）委員 ああ、あちら側ね。

○丹羽（茂）委員 西側にしましょう。

○丹羽（孝）委員 広いところですよ。お祭りとかやるところの。

○竹本学校教育課長 そうです。そちらをお願いします。

○丹羽（孝）委員 よろしくをお願いします。

○吉田委員長 そのほかありますか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

○吉田委員長 では、10月の定例会議を終わります。

(午前10時22分)

上記会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

委 員 長

委 員